



学習院同窓会桜友会は、 設立100周年を迎えました。

「前へ。次へ。その先へ。」

弘化四年（1847年）、京都で公家子弟の学問所としてスタートした学習院は

明治十年（1877年）には、新たに東京・神田錦町で開校しました。

「桜友会」は大正十年（1921年）に卒業生による同窓会組織として誕生し

一般社団法人学習院桜友会として、今年設立100周年を迎えました。

終戦後、官立から私立となった学習院は昭和二十二年（1947年）に

哲学者で文部大臣だった安倍能成を院長に迎えます。

安倍院長は皇室との関係を尊重しつつ

新たに開かれた学校で学ぶ全ての者の精神として

初等科生から大学院生までに分かりやすい言葉「正直第一」や

自分を大切にして互いに敬い合う「自重互敬」を示しました。

正直第一

竹谷 穰

いまでもどう生きるかの指針として、これらの言葉を挙げる桜友会会員が多くいます。

第十代学習院院長乃木希典が掲げた「質実剛健」や

学習院出身の白樺派の作家たちが広めた「人道主義」「理想主義」は

桜友会に脈々と受け継がれている精神です。

享受した伝統と教育を生涯を通じて大切にし親睦を深めること

在校の園児・児童・生徒・学生を支援すること

そして学習院歌にある「もろとも世にぞ捧げん」を胸に刻み

社会貢献活動をすること

それらを次の100年に向かって

さらに継続発展させることが私達の使命です。

正直第一 揮毫／安倍能成



学習院大学・男子高等科・中等科・幼稚園（豊島区白鳥）



学習院初等科（新宿区四谷）



学習院女子大学・女子高等科・中等科（新宿区戸山）

<100周年ロゴマークデザインについて>

孝明天皇から賜った、校名の由来とも言える「学習院」のご宸翰と勅額から想を頂きました。墨痕たくましく毛筆の円相を、算用数字のゼロに見立てています。円相は終わりのない営みを表すとも言われます。また学習院桜友会の活動目標の一つである、人と「和」を深め、人の「輪」を広げていく、との思いも込めています。学校法人学習院の8つの学校全てで徽章として用いられている桜の花と合わせ、図案化致しました。

一般社団法人学習院桜友会は、学校法人学習院を構成する、大学（大学院含む）、女子大学、高等科・中等科、女子高等科・中等科、初等科、幼稚園、8校共通の同窓会組織です。学習院で学んだ全員が会員で、現在その数は国内外で80支部14万人を数えます。

<学習院桜友会100周年の主な記念事業計画>

- 学校法人学習院にキャンパス整備、新規講座開設等のための寄付
- 記念チャリティーコンサート*（サントリーホール）
- 記念式典・特別講演*（学習院創立百周年記念会館）

講演者：山中伸弥 京都大学iPS細胞研究所 所長/教授

*コロナウイルスの感染状況を踏まえて、感染対策・参加人数などの調整を行います。

学習院桜友会100周年の主な活動は、こちらの2次元コードからアクセスして、ご確認ください。



<https://www.gakushuin-ouyukai.jp/>

2027年に学校法人学習院は創立150周年を迎えます